

平成 17 年 11 月 15 日

関係各位

東燃ゼネラル石油株式会社  
東京都港区港南一丁目 8 番 15 号  
代表取締役会長兼社長  
ジー・ダブリュー・プルーシング  
(コード番号: 東証一部 5012)  
問合せ先:  
エクソンモービル有限会社  
広報渉外部  
Tel: 03-6713-4400

### 東燃ゼネラル石油(株)平成 17 年 12 月期業績予想修正に関するお知らせ

平成 17 年 8 月 22 日に公表した平成 17 年 12 月期(平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)の連結および単体業績予想を下記の通り、修正致しましたので、お知らせします。

#### 1. 平成 17 年 12 月期業績予想

連結業績予想：

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回修正予想 (A)	28,770	300	330	200
前回発表予想 (B)	28,150	550	570	350
増減額 (A-B)	620	▲250	▲240	▲150
増減率 (%)	2.2	▲45.5	▲42.1	▲42.9

(B)平成 17 年 8 月 22 日発表

単体業績予想：

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回修正予想 (A)	28,400	90	170	110
前回発表予想 (B)	27,980	350	430	270
増減額 (A-B)	420	▲260	▲260	▲160
増減率 (%)	1.5	▲74.3	▲60.5	▲59.3

(B)平成 17 年 8 月 22 日発表

## 2. 修正の理由

平成 17 年 12 月期の連結営業利益は 300 億円となる見込みです。業績予想を行うにあたり、以下の点を想定しています。

- (1) 石油製品の年間販売数量は前回予想とほぼ同レベルを想定しています。
- (2) 石油化学部門の 10-12 月期のマージンは 7-9 月期からは改善するものの前回発表時より低下すると想定しています。したがって、通期の収益は前回予想より若干低下する見込みです。(但し、同見通しは前年通期実績を上回るものです。)
- (3) 通期の石油製品マージンは 1-9 月期の原油価格急騰の影響により、前回予想よりも大幅に低下する見込みです。但し、10-12 月期のマージンは、前回予想と同程度と想定しています。これは、原油価格が安定的に推移するとの前提によるものです。
- (4) 石油製品マージンを想定する上で見込まれる原油価格の上昇等により、通年で在庫評価による約 130 億円の増益要因を見込みます。但し、当社では在庫評価に後入先出法を採用していることから、年末の在庫水準や原油・製品価格によっては在庫評価が変わることも予想されます。

今回発表した通期業績予想は、前回予想を下回りますが、これは 7-9 月期の収益悪化を反映したものです。但し、10-12 月期の営業利益は、在庫評価益が増加するとの見通しにより、前回予想を幾分上回ると予想しています。

以上